



過去のわかくさネットはこちら

少年指導委員研修会開催

平成31年2月15日、河辺市民サービスセンターで「秋田市少年指導委員研修会」を開催しました。始めに、秋田東警察署生活安全課の池田照美さんから「少年非行を含む問題の実態等について」と題して、秋田の少年の現状について情報提供をしていただきました。続いて、日本笑い学会「笑いの講師団」の上野泰夫さんから、「アナウンサーのこぼれ話～笑いは健康長寿の常備薬」と題して、ご講演をいただきました。

「少年非行を含む問題の実態等について」 池田 照美 さん

秋田東警察署に寄せられた事例をもとに、現在の青少年たちを取り巻く危険や少年との関わり方について教えていただきました。

最近の少年補導件数は、全国的に減少傾向にあるものの、保護が必要な虐待の事案やインターネットに関するトラブルが多い、とのことでした。

県外の生徒とSNSを通じてトラブルが起こった事例と虐待や子どもの見守りに関する事例を紹介してくださいました。その中でも、「重そうな荷物を持っていた子どもに『大丈夫？ 持ってあげようか』と声をかけたら、『助けてー！』と叫びながら逃げてしまった」というお話は、普段の指導委員活動に役立つお話でした。

声をかけるときは、「必要以上に話しかけない」「絶対に触らない」などに注意し、安心感を持たせながらの声かけ・見守りが大切であること、また、虐待の可能性のある子がいたらすぐに連絡してほしいことを呼びかけておられました。



情報提供される池田照美さん

「アナウンサーのこぼれ話～笑いは健康長寿の常備薬」 上野 泰夫 さん

始めに、「笑い」は免疫力を高め、ときには病気も克服するチカラがあるとして、癌を患いながらも地球一周「アースマラソン」を笑顔で完走した芸人さんの話を紹介されました。その後、普段は聞けないアナウンサーや周りの方々の笑えるお話をたくさん教えてくださいました。



講演される上野さん

例えば、「アナウンサーが、事件や事故のニュースのときに『〇〇さん、ハタチが・・・』と言うのは間違いで、『ハタチ』はおめでたい時にしか使わないんですよ」など、日常生活やビジネスシーンでも役に立つようなちょっと笑える言い間違いをご自身のエピソードを交えながら楽しくお話くださり、笑いのあふれる講演となりました。



講演を聴く指導委員の皆さん

巡回日誌から



- 秋田東地区少年保護育成委員会、秋田市東部防犯協会雄和支部と合同で、朝のあいさつをしました。始業式、子どもたちも元気いっぱいあいさつしてくれました。（雄和小・中学校あいさつ運動、雄和地区）
- 店内を巡回したところ、全体的に来店者が少なく親子連れや大人がほとんどでした。通路はある程度広く取っており、見通しは良く陳列しており、所々にレジコーナーを設けて目が届きやすい様に工夫されていました。（万SAI堂、土崎地区）

あきた家族ふれあいサンサンデー！

秋田県では、毎月第3日曜日は青少年の家庭の教育力向上のため、「あきた家族ふれあいサンサンデー」として県民運動を展開し、家族でのふれあいの時間を取ることを推奨しています。

普段忙しくて家族との時間が取れない方、最近家族での会話が減っているなど感じる方も第3日曜日も家族みんなで



ゆっくり食事をしてはいかがでしょう♪



優良図書紹介コーナー

『流鏝馬ガール！』

（著者：相戸結衣）

舞台は流鏝馬（やぶさめ）がさかんな青森県十和田市。流鏝馬の練習で大怪我をし相棒の馬を死なせてしまった過去を持つ舞衣子は、高校入学後は弓道部に入部を決めます。同じクラスには、かつての舞衣子の流鏝馬の姿を見て、流鏝馬をするために東京から

引っ越ししてきた弓道の元国体選手美鶴がいました。美鶴は舞衣子と一緒に流鏝馬をしようと誘いますが、舞衣子は過去の事故を乗り越えられていませんでした。

高校生が身近に感じられる悩みも描かれており、東北秋田に暮らす自分と重ね合わせて読めるような作品です。（出版は2018年8月）



わかくさ相談電話より



1月～3月の相談件数は3件でした。

わかくさ相談電話では、少年に関する悩みや心配事について、本人または家族からの相談に応じます。友達、学校、勉強、進路、家族のことなど、ひとりで悩まず相談してみたいかがでしょうか。来所も可能です。ぜひ気軽にご利用ください。

わかくさ相談電話 884-3868

お知らせ

- 4月22日 観桜会特別巡回
（午後4時 千秋公園）
- 6月 3日 第1回地区少年指導委員代表者会議
（午後2時 センターズ・洋室4）
- 6月20日 “社会を明るくする運動” 秋田市推進委員会
（午後2時 センターズ・洋室4）
- 6月28日 第1回運営協議会
（午後2時 センターズ・洋室4）